

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果

公表:令和5年9月 21日

事業所名 ゆいはうす

保護者等数(児童数)3名 回収数3名 割合100%

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	2	1				学習スペース、活動スペースなど活動に応じて使い分けを今後も行っていく
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	2	1				その日の児童に合わせた職員の配置を工夫していく
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	3					来所後の流れや活動内容をイラストや文字を使っている。今後もより一層子どもたちに分かりやすい環境作りを徹底する
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	3					日々の換気、清掃を今後も徹底し、より一層心地よく過ごせる環境を提供する
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画iiが作成されているか	2	1				保護者さんとの面談後、職員間で話し合いを持ち計画書を作成している
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	2	1				モニタリングや支援者会議を通して支援内容の確認、見直しを行う
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	2			1		児童の課題に沿った個別活動などを今後も行っていく
	8 活動プログラムiiiが固定化しないよう工夫されているか	2			1		個別活動の内容を話し合いながら様々な活動内容を作成していく
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	1		2			児童館のイベントに参加したが、関りを持つ活動は行っていないため今後検討していく
10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	3					契約時により一層丁寧に説明を行う	
適切な支援の提供	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	3					今後も保護者様への丁寧な説明を心掛けていく
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニングiv等)が行われているか	1			2		今後職員間で話し合い家族支援プログラムを考えていく
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	3					申し送りや連絡帳などで丁寧な対応を心がけていく
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	3					モニタリングや申し送りのほか、今後は面談も検討していく
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1			2		感染症の流行状況を見ながら今後検討していく

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
適切な 支援の 提供	16	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	3					対応の体制の周知徹底と迅速な対応に努める
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	3					連絡帳の記載忘れをなくし、申し送りなどでの共有を行っていく
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	2	1				毎月会報を作成し、申し送りなどでも活動内容を伝えている
	19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	3					特定の保管場所を決め十分に注意していく
非常時 等の 対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	2		1			全職員で周知し、それぞれのマニュアルをホームページにて公開し、検討する
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	1			2		事業所の会報等で伝え、年間行事に入れ込んでいく
満足 度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	2	1				今後も子供たちが安心安全に過ごせるよう心がけていく
	23	事業所の支援に満足しているか	2	1				今後も子供たちに合った活動の計画を行い支援していく

i 「本人にわかりやすく構造化された環境」は、この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすることです。

ii 「児童発達支援」は、児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成します。

iii 「活動プログラム」は、事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のことです。子どもの障害の特性や課題等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されています。

iv 「ペアレント・トレーニング」は、保護者が子どもの行動を観察して障害の特性を理解したり、障害の特性を踏まえた褒め方等を学ぶことにより、子どもが適切な行動を獲得することを目標とします。

.....
(保護者等の皆様へ)

○ この児童発達支援評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所を利用しているお子さんの保護者等の方に、事業所の評価をしていただくものです。

「はい」、「どちらともいえない」、「いいえ」、「わからない」のいずれかに「○」を記入していただくとともに、「ご意見」についてもご記入ください。